

豊島・下田市・下田ライフセービングクラブ・シップスの4者で進める 「海浜回収ペットボトルアップサイクルプロジェクト」 2026年も継続しキックオフビーチクリーンを開催

快適なライフスタイルの提案を進める豊島株式会社（本社：名古屋市中区、代表取締役社長：豊島晋一）が展開する漂着ペットボトルを回収し資源にする「UpDRIFT®」の仕組みを活かし、静岡県下田市（市長：松木正一郎）（以下、「下田市」）、特定非営利活動法人下田ライフセービングクラブ（理事長：松原光弘、静岡県下田市）（以下「下田LSC」）と株式会社シップス（代表取締役社長：原裕章、東京都中央区）とともに、2022年より、美しい海の保全とその魅力を広く伝えることを目的とした【海浜回収ペットボトルアップサイクルプロジェクト】に取り組んでいます。

今年5年目を迎える本プロジェクトの継続にあたり、2026年7月5日（日）に4者によるキックオフビーチクリーンを実施いたしました。当日はビン・缶・ペットボトル・プラスチック片・漁具など、合計約100kgの漂着ごみを回収しました。今後も引き続き、「UpDRIFT®」の仕組みを活用しながら、本プロジェクトの取り組みを伝えるアイテム製作を予定しています。



■「海浜回収ペットボトルアップサイクルプロジェクト」について

本プロジェクトは、ビーチクリーン活動と海浜ペットボトルの回収・アップサイクルを主な内容としています。毎年7月～8月の約1か月間、下田LSCが実施する「クリーンキャンペーン」において、ライフセーバーや遊泳客、海を訪れる方々が、指定海岸で集めたごみのうち、ペットボトルごみが豊島の「UpDRIFT®（アップドリフト）」の仕組みによって繊維に生まれ変わります。

生活者が自発的に参加しやすい形で2022年からスタートし、毎年約80～100kg（約4000～5000本）の漂着ペットボトルを回収しています。UpDRIFT®の仕組みで繊維原料へと再資源化され、これまでに同原料を素材の一部に使用したオリジナルポロシャツやエコバッグが製作・販売されています。

海浜ペットボトルを原料としたこれらの商品は、参加者によるビーチクリーン活動の成果を象徴するものとなっています。また、取り組みの認知拡大とあわせて、持続可能な循環型社会の実現に向けた一助となっています。



■ 2026年7月5日(日)キックオフビーチクリーンの様子

下田市のいけんだ浜で実施したキックオフビーチクリーンには、豊島、下田市、シックス、下田ライフセービングクラブに加え、地元有志の方々など、約50名が参加しました。1時間のうちで、ビン・缶・ペットボトル・プラスチック片・漁具など、合計で約100kgの漂着ごみが回収されました。

当日はお子さまの参加もあり、ごみの種類や分別方法について学ぶ様子も見られました。また、“自分たちの手で拾ったものが新しい製品に生まれ変わる”ことの象徴として製作した、UpDRIFT®素材を一部使用し、シックスがデザインしたオリジナルポロシャツ(本プロジェクト第3弾商品)を着用しながら活動に参加する方々の姿もありました。



■ 2026年「クリーンキャンペーン」実施概要

下田LSCが実施する「クリーンキャンペーン」(身の回りに落ちているごみを集め、パトロールタワーに持ち寄る取り組みです)において、ペットボトルの回収については、「UpDRIFT®」の一環として実施します。

【日時】 2026年7月18日(土)～8月23日(日) 毎日午後1回

(海水浴場によって時間・期間が異なります。詳しくはライフセーバーにお尋ねください)

【場所】 白浜中央海水浴場・白浜大浜海水浴場・外浦海水浴場・鍋田浜海水浴場・多々戸浜海水浴場・入田浜海水浴場・吉佐美大浜海水浴場

※白浜中央海水浴場は8月30日(日)、白浜大浜海水浴場は8月31日(月)まで開催予定

～きれいなビーチをみんなで守ろう～

美しい自然を守るために、ビーチに遊びにきた方々に呼びかけて、みんなで一緒にごみ拾いをします。ご参加いただいた方にはSHIPSオリジナルビーチバッグをプレゼントしています。

下田市の海水浴場＆イベント情報はこちら

・ 海水浴場情報

< [下田の海岸 | 伊豆下田観光ガイド \(shimoda-city.info\)](https://shimoda-city.info) >

・ イベント情報

< [イベント | 伊豆下田観光ガイド \(shimoda-city.info\)](https://shimoda-city.info) >

■UpDRIFT®について

日本国内の海岸で回収されたペットボトル等をリサイクルし、新たな製品として生まれ変わらせるプロジェクトです。地域活動団体や地方自治体、企業等と連携して行うクリーンアップ活動を通して回収したペットボトル等を、分別や洗浄を行ってから「UpDRIFT®」素材として原料化し、その原料を新たな製品の一部に採用しています。

海洋/漂着ペットボトルから生まれた繊維が新しいアイテムへと生まれ変わっていくことを通して、環境問題を考えるきっかけに、そして循環の輪が未来に広がっていくことを目指しています。



<https://updrift.jp/>



■特定非営利活動法人下田ライフセービングクラブ <https://www.shimoda-lifesaving.com/>

1978年より下田の水辺の事故ゼロを目指す活動を行っているライフセービングクラブ。48年間水辺の安全・啓蒙活動とビーチクリーン活動を行っています。下田では、1978年にビーチでのゴミ拾いから始まりました。これまで、「ジュニアプログラムの立ち上げ、世界大会の国内初開催、企業とのパートナーシップ、姉妹クラブとの国際交流、クラブの法人化」と、日本におけるライフセービングの歴史とともに活動を進めてきました。下田ライフセービングクラブは、「Safe & Clean 一人のつながりを大切に」をテーマに、水辺の事故ゼロを目指しつつ、人にも地球にも優しい取り組みをしています。

SHIPS

■株式会社シップス <https://www.shipsltd.co.jp/>

1975年創業。日本初のセレクトショップとして“STYLISH STANDARD”をコンセプトにこだわりのスタイルを提案しています。ONE SHIPS ACTIONはSDGsの達成を考えたCSR活動とサステナブルな取り組みを推進していくためのアクション。今そして今後もできることをSHIPSとして、またSHIPSスタッフ有志としてさまざまな活動を行っていくことを目的とします。様々なアクションの中で持続可能な未来を築いていくために少しのいいことを継続していきます。SHIPSは、今後もサステナビリティ活動の一環として、限りある資源を有効に活用し、持続可能な社会の実現に寄与してまいります。



■下田市 <https://www.city.shimoda.shizuoka.jp/index.html>

下田市は、静岡県伊豆半島の南部に位置し、豊かな自然と美しい海岸線、そして開国の歴史が息づく国際色豊かな観光都市です。

現在、下田市の地域性（ローカル）と国際性（グローバル）な特徴を生かし、地域への誇りと愛着を持ち、国際社会で活躍できる人材の育成と、世界に通じる魅力的で持続可能な未来の下田の創出を目指して取り組む「下田市グローバルCITYプロジェクト」を推進しています。

海浜回収ペットボトルアップサイクルプロジェクトはその一環であり、美しい海を守るため、行政と民間企業が手を取り合う「官民連携」の体制でスタートしました。「海浜回収アップサイクルプロジェクト」を通じて、海岸に漂着・廃棄されたペットボトルを新たな価値ある資源へと生まれ変わらせ、下田市から世界へ、循環型社会の新しい形を発信していきます。

■豊島株式会社 <https://www.toyoshima.co.jp/>

1841年の創業以来、180年を超える歴史を礎に、グローバルな原料調達から最終製品の企画・生産管理・納品まで、ライフスタイル産業のサプライチェーンを総合的に担っています。様々なニーズに寄り添うため、事業領域を雑貨・コスメ・食品へと拡大。サステナブルプロジェクトの推進に加え、多種多様な連携による価値創造や、テクノロジーを活用した新たな価値提案にも注力しています。2019年より掲げるステートメント「MY WILL（マイ ウィル）」のもと、持続可能なライフスタイルの実現に向けて挑戦を続けています。